

小学校5年（第1時）　自己理解・他者理解

自分も相手も大切に「仲間のことをもっと知ろう」

1 ねらい

自己紹介やインタビューをし合う活動を通して、新たな人間関係の形成や広がりを図ろうとする態度を養う。

2 本時で目指す児童の姿

- (1) 仲間と関わりながら、仲間の新たな一面に気付いている。
- (2) 多くの仲間と関わりをもち、仲間の輪を広げている。

3 準備

- (1) 教師の準備物

円のカードをランダムに2分割したもの（画用紙等の厚紙）

※同じセットをいくつか用意することで、相手を変えながら複数回活動を繰り返すことができる。

- (2) 使用するシート

ア 質問カード【p. 97～98】

イ 振り返りシート【p. 230】

4 展開

学習活動	留意点
1 「自己理解・他者理解」について確認する。 【2分間】	○新しい集団になっての期待や不安を引き出すごとで、仲間づくりへの意識を生み出す。
2 本時のねらいを理解する。【3分間】 ○新しい学年や集団で「仲間意識」を高めることを目的とすることを共有する。 ・たくさんの仲間のことを知りたい。 ・普段あまり話さない人に聞いてみたい。 ○○さんってどんな人なんだろう。	○質問カードに自分の回答を入れることで、活動を通して仲間と同じところや違うところに気付かせる。
3 質問カードを作成する。【7分間】 ○質問カードに自分が質問したい内容を記入する。さらに、その質問に対する自分の回答を記入する。 ・好きな教科、スポーツ、動物、芸能人等	

- ・自分のくせ、特技、弱点等
- ・今はまっていること、悩んでいること等

4 「ピッタリさん探し」を行う。【28分間】

- 教師のモデリングを見る。

【ピッタリさん探し】

ランダムに分けたカードをもち、1つの円になる相手を見つけ、ペアをつくる。ペアになつたら質問カードを使い、インタビューをし合う。聞き取つた内容は取材カードにメモする。(1セット7分間)

※1セット終了後、ぴったり1つの円になる相手は一人ではない(他にも複数人いる)ことを伝え、次のセットに入る。

5 振り返りをする。【5分間】

- ・□□さんは、ぼくと同じところがたくさんあった。
- ・□□さんの知らないことがたくさん分かった。
- ・□□さんとは、あまり話したことがなかつたけれど、話せるようになってうれしい。
- ・もっと違う人のことも知りたい。

○教師が活動の動きをモデリングし、活動のイメージをもたせる。カードをもらう役は児童に依頼する。

○クラスの実態に応じて意図的なカードの振り分けも考えられる。

○関わることが苦手な児童には、教師が一緒に探す等の支援をする。※奇数の場合は教師も一緒に活動に参加する。

○相手を見つけた際、相手が嫌がるような言動はしないよう確認する。

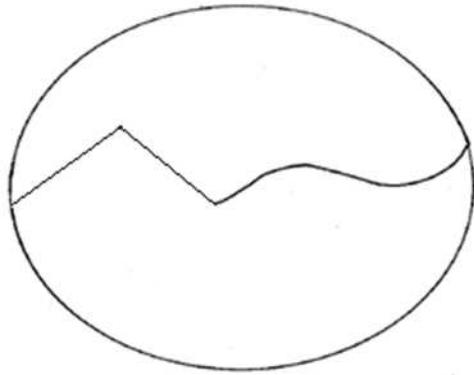
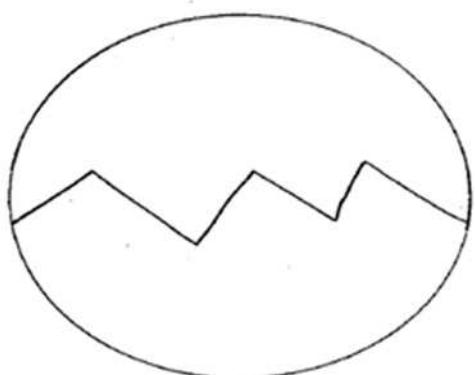
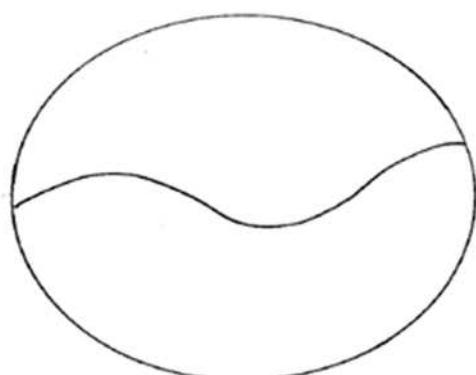
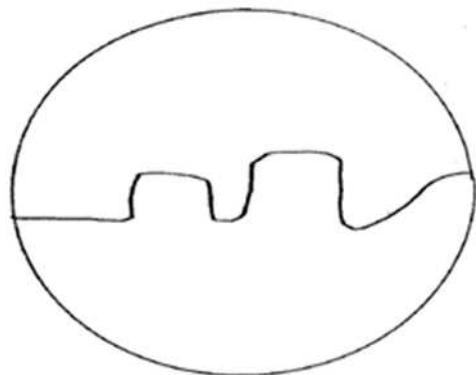
○質問に対してはできる限り理由も伝えるように指示をする。

○仲間の回答を受けて、自分が感じたことを振り返るよう伝える。

◇(ねらいにせまったく姿)
多くの仲間と関わりをもち、仲間の輪を広げている。

○活動中の様子から、今後個別に支援する必要がある児童について把握する。

小学校5年(第1時)自己理解・他者理解 自分も相手も大切に「仲間のことをもっと知ろう」円のカード・質問カード



小学校5年(第1時)自己理解・他者理解 自分も相手も大切に「仲間のことをもっと知ろう」円のカード・質問カード

年 組 番 名前

■質問カード

質問	自分のこたえ
①	
②	
③	
④	
⑤	

■取材カード

() さん
①
②
③
④
⑤

() さん
①
②
③
④
⑤

() さん
①
②
③
④
⑤

() さん
①
②
③
④
⑤

振り返りシート 【プログラム：】

年 組 番 名前 _____

1 自分のこととして取り組みましたか。

1	2	3	4
まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	すこしあてはまる	とてもあてはまる

2 自分や友達の考えを大切にしましたか。

1	2	3	4
まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	すこしあてはまる	とてもあてはまる

3 この授業で大切にしたいことやこれからの生活に役立てたいことなど

を書いてください。